

北区会 自由な趣味の会

第54回折り紙の会 活動計画

: 2022年 6月29日(水) 13時~16時

1. 参加者と場所と時間

時間	場所	参加予定者
13時~16時	研修館1	みどり講師・公子講師・山下講師: 鬼村信行、佐伯義昭、前田仁子、宮内久子、高橋毅、徳山忠子、山川端子、才田章子、高見幸子、小野淳子、道満俊徳 敬称無; 欠席中川豊、中川多賀子

折り紙の会 はじめに。

今朝、驚きの記事「46億年の砂命の謎に迫る」朝日。小惑星「リュウグウ」から探索機「はやぶさ2」が持ち帰った砂の分析の結果46億年前の特徴を保ち、たんぱく質の材料で生命の源に繋がるアミノ酸が豊富にあった。生命の誕生に不可欠な物資だが、どのようにして地球に、また隕石からアミノ酸検出され、宇宙、隕石、生命という線がおぼろげながらつながった。などなど..生命の起源に迫る記事。凄いですね！ **その宇宙への探索機は折り紙の仕法が応用されているかな?ドキドキですね。**

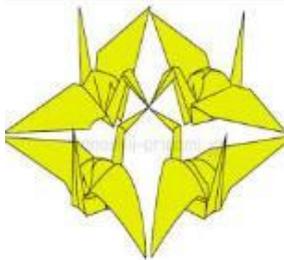
2. 活動概要

I 鶴

II、講師より 当日制作作品案は提案して頂きます。

講師より 当日提案して頂きます。

この写真は全く作品課題ではありません



折り紙が持つ幾何学的な性質から、数学の一分野としても研究されている他、工学や宇宙工学分野でも構造物の収納・展開の手段として活用されている。その効果効用：想像力、創造力、数学的・幾何学的観念を与える、物の順序、正確性、楽しさ、美的情緒を養う、手先の運動神経 つまり脳トレにもっとも簡単に何時でもできる良さで、何よりも日本で一番庶民伝統作品です。

* 折り紙の歴: は平安時代(794~1185)後期に、貴族達が畳んで懐中に入れる薄い紙(鼻紙や和歌などの料紙)や紙入れ、小物入れ、化粧品包みなどの厚い紙製の「たとうがみ」があり、鎌倉時代になると、幕府は貴族社会との交流の為に、伊勢家や小田原家に有職故事(調停や公家の管制や行事の慣行に関する知識)を学ばせました。当時紙を折ることはすべて「折形」でした。上流の武家社会で贈答品の包みや婚礼の儀式の席の飾りなどの折り紙が整備されていく一方、儀礼折り紙の余儀として「鶴」「舟」などの 遊戯折り紙 が作られるようになったと考えられる。「おりがみ100」より~

この会はどの区会の方も自由に参加頂けます。お知り合いお友達もお誘いください。

申し合わせ及び注意事項

- 1) 欠席者は事前に幹事「道満」へ連絡する
- 2) 諸道具は自身で持参、その服装などの準備もお願いします
- 3) 諸道具の購入などは参加者負担(500円)をお願いします。

次回開催:

第55回折り紙の会活動計画予定

開催日 令和4年 7月 27日(水) 12時半~16時

場所 未定 だが.. ①しあわせの村内 ②星和台ファミリーホール

文責 道満